

情報連絡員報告・2月分

4月施行の改正中協法についての意見が多数よせられる

< 東京都中央会 >

2月の情報連絡員報告によると、製造業・非製造業ともに売上高DI（前年同月比）値は好転、業界の景況DI値は若干ながら悪化した。業界の声からは特記事項として1月に引き続き、暖冬の影響による販売不振についての報告がよせられた。また、4月施行の改正中協法についての意見が多数よせられ、なかでも決算関係書類等の作成・手続きの大幅な変更への対応が困難とするものが多かった。製造業65人、非製造業85人、計150人の集計

業界の声

特記事項欄より

「繊維・同製品」

- ・記録的な暖冬の影響で冬物商戦は完敗。早めに春物に切り替えた企業は正解といえる。今年こそは平年並みの気候を期待する。（帽子製造業）

「窯業・土石製品」

- ・リサイクル砕石・石灰砕石の影響から出荷量が減少。一方、輸送問題（従事者高齢化、排ガス規制対策費、軽油価格の上昇）の影響で、業界を取り巻く環境は非常に厳しいものがある。（砕石製造業）

「鉄鋼・金属」

- ・予想以上に好調で、特に建材・工作機械関係の仕事が繁忙。また、経済産業

省が決定した「取引ガイドライン」により取引条件が大きく改善されることを期待する。（金属熱処理業）

「卸売業」

- ・記録的な暖冬の影響で、鍋まわりの消耗品の売上げが極端に落ち込んだ。（洋食器卸売業）
- ・宮崎、岡山と鳥インフルエンザ発生は業況に影響がでると思われたが、国及び各県の迅速な対応により風評被害も少なく、売上減少もまぬがれて、一安心といったところ。（食鳥鶏卵卸売業）

「小売業」

- ・営業悪化で組合員の廃業が続き、この2ヵ月で15件。今年は暖冬で鍋物も食卓に出番がなく、豆腐等の売れ行き不振である。大手量産豆腐の市場シェア

競争が激しく、安売りが続いている。

(豆腐小売業)

- ・暖冬の影響で人の往来も活発かと思われたが、来客は少ないとなげく組合員が多い。消費マインドが冷え込んでいるという証拠か。(古書籍小売業)

< 要望事項欄より >

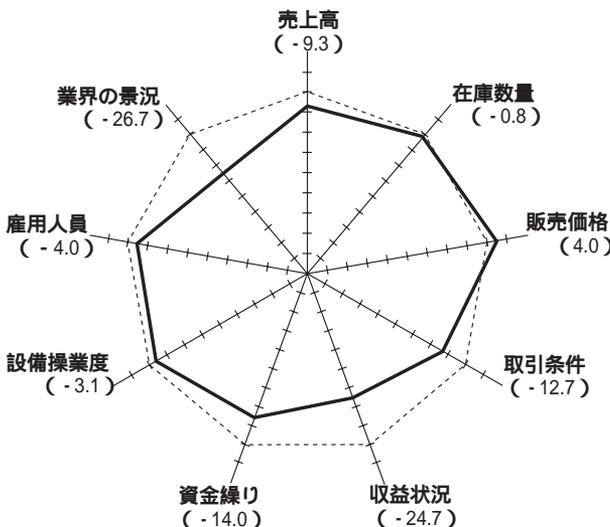
- * 中小企業組合制度の改正により、事業年度終了後2ヵ月以内の通常総会の招集は困難に思われます。これに対応する定款の変更等はどうか。 [帽子製造業]
- * 今回、中協法改正・施行となったが、なぜこれほど急ぐ必要があるのかわからない。 [建設用金属製品製造業]

* 改正された中協法だが、決算事務については法律どおりにはできず、対処の方法が見つからない。各支部の決算書をまとめたうえで、総合会計を行うので監査期間を確保することは無理難題。 [古書籍小売業]

* 決算関係書類等の作成・手続きが大幅に変更されますが、4月中旬までの監事への書類提出はできません。株式会社にすれば大丈夫か。 [港湾運送業]

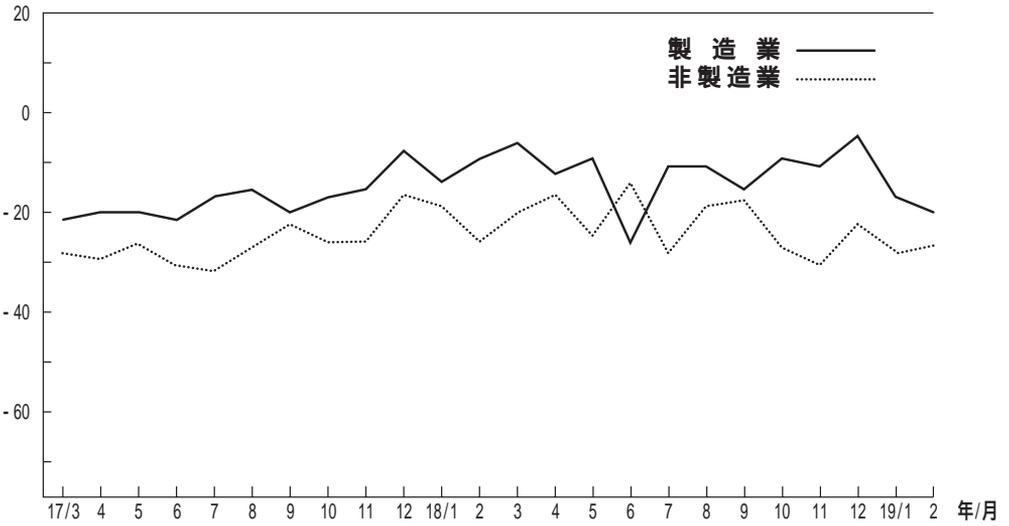
* 駐車違反取締りの見直しを強く要望する。配達・集金業務の関係上、10分間くらいの猶予がほしい。また、路上パーキング等の駐車料金が増加しているので、料金の引き下げも検討してほしい。 [帆布製品製造業]

2月のレーダーチャート(全産業、前年同月比DI値)

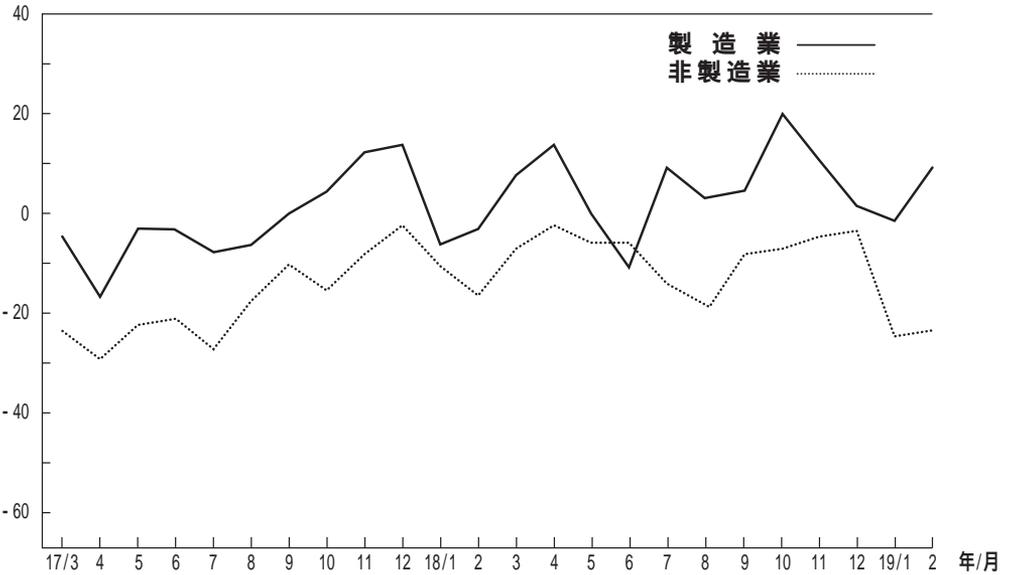


(注)点線の9角形が「DI = 0」を示す。したがって、点線の内側は「減少」「低下」「悪化」、外側は「増加」「上昇」「好転」となる。

業界の景況DIの変化（H17.3～H19.2）
（前年同月比）



売上高DIの変化（H17.3～H19.2）
（前年同月比）



(注)DIとは、デフュージョン・インデックスの略で、前年同月に比べ「増加」・「上昇」・「好転」したとする割合から「減少」・「低下」・「悪化」したとする割合を差引いた値である。